

▶活動の特徴

自助・共助・公助



都市防災や都市計画、建築の専門家と、杉並区内で様々なまちづくり活動をしている市民とが会を構成し、杉並区危機管理室、防災課、みどり公園課と連携しながら実績を積み重ねている「市民版災害時疑似体験」です。建築物や街路の安全性を図る一方で、市民自ら市民の命を守ることを目標にしています。その際の自治組織の作り方などにつなげていくために、全員で計画を練り、全員で役割分担をし、全員で行動をしていく内容になっています。この活動を通して、杉並建築会などと協働し、近い将来の地区防災づくりにもつなげていこうと考えています。

▶活動部門

▶災害対策全般

サバイバルキャンプ 実行委員会

▶2014年

「のぞいてみよう！使ってみよう！
そしてみんなとつながろう！」

- ・かまどベンチ体験
- ・炊き出し訓練
- ・テント設営
- ・仮設トイレの組立
- ・防災士によるロープワーク訓練
- ・防災士による被災者発見訓練など【参加者数：53名】



▶目的

近い将来に都市、特に杉並区を襲うことが懸念される災害発生に際して、公的支援が困難な災害発生初期段階において、地域住民自らが主体的に災害に対応し、近隣住民の助け合いの下に、人的及び物的被害を最小限に食い止めるために、日頃から訓練を行いこれに備えることを本会事業の目的としています。

▶2015年

「とことんトイレ de HUG しよう」

- ・3.11で液状化の被害を受けた浦安市職員の方から避難生活でのトイレ問題の話聞く
- ・災害時用トイレの現物見学
- ・避難所にやってくる避難者の配置疑似体験(HUG)など【参加者数：47名】



▶主たる実施事業

- ① 避難路の点検、避難路に関する改善の提言、及び避難訓練の実施
- ② 避難場所の点検、及び避難場所に関する改善の提言
- ③ 避難場所における生活模擬体験の実施
- ④ 本会の目的を達成するために必要なその他事業

▶2016年

「食と暖」

- ・災害時トイレの組立
- ・低体温症防止法
- ・防災グッズ自慢
- ・かまどスツールで芋煮づくり
- ・ロケットストーブ体験
- ・ウッドガスストーブづくりなど【参加者数：60名】



応募代表者：山田 清

有限会社人イエまちネットワーク 取締役

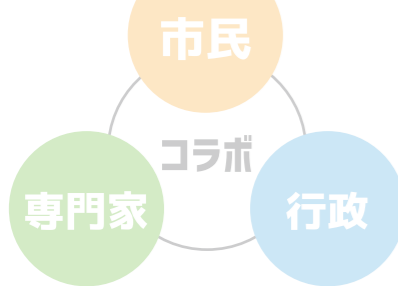
昭和49年法政大学工学部建築学科卒
平成10年人・イエ・まちネットワーク設立
平成11年(有)人イエまちネットワークに改組

ハウジングやビルディングといった実装空間以外に、社会的な関係づくりもアーキテクチャとしてとらえています。そういった意味で、さまざまな主体のコラボレーションで成り立っている「サバキャン」は市民・専門家・行政の新たな関係づくりです。つまりそれは「つなぎのデザイン」。

活動の特徴

10mm

自助・共助・公助



都市防災や都市計画、建築の専門家と、杉並区内で様々なまちづくり活動をしている市民とが会を構成し、杉並区危機管理室、防災課、みどり公園課と連携しながら実績を積み重ねている「市民版災害時疑似体験」です。建築物や街路の安全性を図る一方で、市民自ら市民の命を守ることを目標にしています。その際の自治組織の作り方などにつなげていくために、全員で計画を練り、全員で役割分担をし、全員で行動をしていく内容になっています。この活動を通して、杉並建築会などと協働し、近い将来の地区防災づくりにもつなげていこうと考えています。

2014年

「のぞいてみよう！使ってみよう！
そしてみんなとつながろう！」

- ・かまどベンチ体験
- ・炊き出し訓練
- ・テント設営
- ・仮設トイレの組立
- ・防災士によるロープワーク訓練
- ・防災士による被災者発見訓練

【参加者数：53名】



2015年

「とことんトイレ de HUGしよう」

- ・3.11で液状化の被害を受けた浦安市職員の方から避難生活でのトイレ問題の話聞く
- ・災害時用トイレの現物見学
- ・避難所にやってくる避難者の配置疑似体験 (HUG) など

【参加者数：47名】



2016年

「食と暖」

- ・災害時トイレの組立
- ・低体温症防止法
- ・防災グッズ自慢
- ・かまどスツースツで芋煮体験
- ・ロケットストーブ体験
- ・ウッドガスストーブづくりなど

【参加者数：60名】



各枠の表記・文字サイズは自由です。

A3出力をイメージして下さい。

データ容量は【4MB以下】にしてください。

10mm

120mm

10mm

活動部門

15mm

5mm

特徴カテゴリー(代表)
特徴カテゴリー(サブ/④詳細)

5mm

サバイバルキャンプ 実行委員会

40mm

タイトル

5mm

目的

近い将来に都市、特に杉並区を襲うことが懸念される災害発生に際して、公的支援が困難な災害発生初期段階において、地域住民自らが主体的に災害に対応し、近隣住民の助け合いの下に、人的及び物的被害を最小限に食い止めるために、日頃から訓練を行いこれに備えることを本会事業の目的としています。

100mm 概要

主たる実施事業

- ① 避難路の点検、避難路に関する改善の提言、及び避難訓練の実施
- ② 避難場所の点検、及び避難場所に関する改善の提言
- ③ 避難場所における生活模擬体験の実施
- ④ 本会の目的を達成するために必要なその他事業

5mm



写真

87mm

応募代表者名

所属 まちネットワーク 取締役

昭和49年法政大学工学部建築学科卒
平成10年人・イエ・まちネットワーク設立
平成17年(南)人・まちネットワーク改組

メンバー情報

ハウジングやビルディングといった実装空間以外に、社会的な関係づくりもアーキテクチャとしてとらえています。そういった意味で、さまざまな主体のコラボレーションで成り立っている「サバキャン」は市民・専門家・行政の新たな関係づくりです。つまりそれは「つなぎのデザイン」。

10mm